



山村美咲子 議員

「通学路の 安全対策」について

在では整備が進み、33箇所中20箇所が対策済みで、7箇所が対応途中（県対応4箇所、町対応3箇所）。残る6箇所が検討中で、25年度町対応予定が2箇所、残りの4箇所は香芝警察との協議で対応する予定です。

② 今後もPTA、警察とも協議しながら、通学路の安全対策については継続的に実施していきます。

③ 進捗状況を把握するにはホームページで公開するなど進行管理をしつかりする必要がある。

④ 「ゾーン30」については、沿線の皆様の協力を得ながら、町内でも取り入れていくよう考えます。

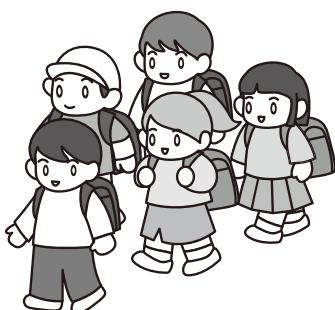
⑤ 沢の通学路歩行者安全確保の要望には、用地確保のため地元協議が整えば、速やかに整備していくきます。

◆その他の質問事項

○安心・安全なまちづくりのためにいくべきでは？

○学校給食における食物アレルギー対応について

理事者 昨年の通学路における交通事故を受け、通学路の全国一斉点検が実施されました。本町では、33箇所の対策必要箇所がありました。現



山田美津代 議員

西幼稚園廃園検討は やめるべき！

です。体育館利用と合わせて年間15万人も利用されている。住民サービスが低下しないよう配慮がいるし、適正な職員数の配置を考えていただきたいたい。

平岡町長

少数精鋭主義を基本としている。人員だけでなく人材を育てる事も大切であり常にその視点で適正な配置をしている。

安田教育長

月の初めは集中する。本庁からも応援をして態勢をとりスムーズに対応している。

公共施設建設時には、 奈良県産材を！

問 奈良県産材は、白アリにも災害にも強い。これから老朽化による公共施設の建て替えや歴史文化会館（仮称）の建設、中学校給食実施による案の中にランチルーム等検討されている中で、暖かみがあり、衝撃を和らげて足の負担やケガの防止にもなる県産材の使用が必要と思われます。ぜひ県も薦めている県産材の活用を。

中央公民館の職員数は 適正な配置をされていますか？

問 町民が利用しようと予約を取りに行つても、最近混んでいたり、電話中だつたりと以前と比べて職員が大幅に配置替えになり、何か聞いてもわからぬ事が多くお困りえます。

平岡町長 本町では公園の屋外トイレや観光トイレに使用している。今後、公共施設での使用は、構造、場所等、また耐火性能、耐久性等十分検討しながら進めてまいりたいと考